

時給

1500円なら、

月給

24万円だ。

1500円 × 8時間 × 5日 × 4週 = 24万円

## 最賃上げろ! Fight for ¥1500 4.15 Global Action in 埼玉

日本でも、世界でも、格差と貧困が広がっています。NGO団体のオックスファムが今年1月に新たに発表した最新の調査では、「昨年(2017年)、新たに生み出された富の82%を世界の最も豊かな1%が手にし、世界の貧しい半分の37億人が手にした富の割合は1%未満」とあります。野村総研による調査では、国内総資産の20%が国内上位2%の富裕層に集中しているという報告があり、日本国内でも格差と貧困の傷口は深刻に広がっています。

この世界的問題に、毎年4月15日、30か国以上のファストフード労働者がキャンペーンを行ってきました。非正規雇用、低賃金、長時間労働など労働条件の改善を要求し、労働組合加入権を守ることで格差と貧困を是正し、「人間らしい働き方(ディーセントワーク)」を求めたたたかいです。IUF(国際食品関連産業労働組合連合会)の組合員による行動で、2016年にはア

メリカで「15ドル要求闘争(Fight for \$15)」も生まれました。日本では、AEQUITAS(エキタス)などの団体が、「格差と貧困の是正」「憲法25条に基づいた生活」を掲げてアピール行動に立ち上がっています。

この運動に連帯して、埼玉では昨年引き続き「最賃上げろ! Fight for ¥1500 Global Action in 埼玉」に取り組みます。とりわけ、若年労働者の実態は深刻です。現在の賃金体系や労働条件では、若年労働者が将来を見通すことが困難であると私たちは考えます。埼玉労連の調査では、20代の単身者世帯の最低生計費(健康で文化的な最低限度の生活を送るための費用)として、約24万円/月を必要とすることが明らかになっています。私たちは、「最賃1500円が当たり前の社会」「誰もが人間らしく働ける社会」の実現のため、アピール行動をおこないます。ご賛同・ご協力をお願いします。

4.15 **SUN** 13:30- 大宮駅西口開始  
宣伝 & サウンドデモ

主催: Fight for ¥1500 Global Action in 埼玉

お問い合わせ先: 埼玉県労働組合連合会(埼玉労連) 048-838-0771